

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2019.12.5 NO.366 東京・羽村平和委員会発行



C17嘉手納でパネル開けたまま飛行

横田基地を11月24日(日)13時36分、ウエストバージニア州空軍の大型輸送機C17Aが離陸しました。その後、沖縄・嘉手納基地に着陸。同機の部品脱落が報じられました。

25日(月)、同機が、パネルを開いたまま飛行、の報道がありました。

26日(火)、「嘉手納の米軍が部品脱落を否定と防衛省」の報道がありました。

パネルは機体下部の左右にあり、横幅50センチ、長さ1メートル弱で、フレアやチャフの収容スペースを覆うもの。万一落下したら大惨事。



ドイツの米軍基地 ピーホス汚染

2016年ドイツのアンスバッハ地域で、ピーホス汚染問題が発生しました。そして、最近、アルスバッハ市における土壌と地下水サンプルのピーホスは、正常レベルより高いことが分かったと、軍と当局が発表しました。しかし、最近の詳細な分析を軍は拒否しているのだそうです。

ドイツ当局は、アルスバッハで手に入れた地下水と土壌の試験結果を、米軍が発表しないことを告発しているそうです。



第1空挺団

平成30年

陸自第1空挺団 降下訓練始め 日米一体化

陸上自衛隊習志野演習場などで、来年1月12日に「降下訓練始め」が実施されます。

米陸軍は在日米陸軍30人、アラスカ州の第25歩兵師団第4旅団戦闘団20人、ノースカロライナ州の第82空挺師団30人、米空軍は横田基地の第374空輸航空団が参加を予定しています。

日米空挺降下のデモンストレーションで米空軍のC-130J-30の参加を明記しています。

降下訓練始めは第1空挺団が毎年1月に実施。米軍は2017年に沖縄の米陸軍第1特殊部隊群第1大隊(通称グリーンベレー)の9人が初めて参加。2018年は沖縄のグリーンベレーとアラスカの部隊の80人、2019年も両部隊の70人が参加しました。日米一体化が進んでいます。

オスプレイNO 木更津大集会

12月1日、「オスプレイ暫定配備反対12.1県民集会」が千葉県の木更津市吾妻公園で開催され、2000人が参加し、熱気に包まれました。

陸上自衛隊が導入するオスプレイ17機を木更津駐屯地に暫定配備しようとしている問題で、防衛省は理由も「暫定」期間も明らかにしていません。木更津市議会で5年容認案が提案される事態になっています。

集会には日本共産党、新社会党、社民党、国民民主党など7政党・会派、諸団体から連帯あいさつやメッセージが寄せられました。参加者は集会後、木更津駅までパレードしました。



日米共同演習「ヤマサクラ」

米軍と一体の海外作戦念頭

陸上自衛隊と米陸軍を中心とした日米共同方面隊指揮所演習「ヤマサクラ77」が、3日から16日までの日程で始まります。1988年2月に始まり、北部、東北、東部、中部、西部の5方面隊が毎年交代で実施してきた同演習は、安保法制―戦争法の下で、米軍と一体で実施する海外での軍事作戦に陸自の全部隊を動員する演習へと変貌(へんぼう)しています。

(佐藤つよし)

約600人参加 玉県、健軍(熊本県)両駐屯地、米海兵隊のキャノン・コートニー(沖縄)や情報ネットワークを県などを会場に実施。使った図上演習です。防衛省陸上幕僚監部が11月、米軍は約1600人が参加し、朝霞(東京都、埼玉)米陸軍の演習部長は

陸上自衛隊の方面隊 日本を地方ごとに分けて陸上自衛隊の部隊を管理し作戦を指揮する組織。北部(北海道)、東北(東北)、東部(関東甲信越・静岡)、中部(東海・北陸・近畿・中国・四国)、西部(九州・沖縄)の5個があります。司令官は「方面総監」、司令部は「方面総監部」です。

陸上総隊指揮 全部隊動員へ強化

ワシントン州の第1軍団部が調整をしていたが、陸自の演習部長は東部方面総監と西部方面総監です。陸自は2018年3月に朝霞駐屯地に発足した陸上総隊も参加します。陸上総隊は、海外での作戦を含めて五つの方面隊を統括・指揮する司令部です。

全国規模に

もともと陸自の1個方面隊が参加する演習が、昨年12月のヤマサクラ75から、2個方面隊が参加する演習に大きく変わりました。

2個方面隊の参加について陸上幕僚監部広報室は「1個方面隊だと、陸上総隊が参加する意味が少ないということだ。方面をまたいで部隊を増やしたり減らしたりするのは、これまで陸上幕僚監

部が調整をしていたが、陸上総隊ができたので作戦や演習で米陸軍司令部と対応し方面隊の上位司令部として陸上総隊が判断し運用できるようにした」と説明します。演習は、陸上総隊が実際の司令部となり、複数の方面隊を指揮するもの



ヤマサクラ77のメイン会場となる陸上自衛隊朝霞駐屯地

となっっています。陸軍広報室は、2方面隊にとどまらず、全国規模に演習が拡大する可能性についても「いずれはそうなると思う」と否定しませんでした。

米陸軍は、11年12月の「イラク撤退完了宣言」、アジア重視戦略への転換で第1軍団をインド・太平洋地域専任の作戦司令部として関与を強めてきました。

キャンプ座間(神奈川県)の第1軍団前方司令部は、18年3月に在日米陸軍から分離し、ワシントン州の第1軍団司令部の前方指揮所として作戦を指揮する司令部となりました。陸自は、第1軍団前方と同じ庁舎内に、陸上総隊の日米共同部を設置しました。ヤマサクラ演習は、陸上総隊と第1軍団の日米の司令部が一体で作戦する体制を具体化し、日本を米軍の戦略に深く組み込むものに強化されています。

CVオスプレイやC130輸送機の飛行が酷い

米軍機に国内法適用を

12月15日は、第129回横田座り込みです。

12月22日は、青梅線3駅で宣伝署名活動です。